

## 2024(令和6)年能登半島地震による石川県能登地方における 鉄骨造建築物及び建築物の非構造部材の被害調査報告(速報)をHPで公開

令和6年能登半島地震による石川県能登地方における鉄骨造建築物及び建築物の非構造部材の被害について、建研及び国総研が実施した調査の速報を建研及び国総研のホームページに掲載します。

この調査は、令和6年能登半島地震により震度6強以上が観測された5つの市町(輪島市、七尾市、珠洲市、穴水町、能登町)における公共施設、教育施設(校舎・屋内運動場)等の鉄骨造建築物及び建築物の非構造部材の被害状況を把握するとともに、大きな被害が確認された一般の鉄骨造建築物等の被害状況を情報収集することを目的としております。なお、この調査は国土交通省住宅局及び石川県の要請を受けて行ったものです。

主体：(国研)建築研究所、国土技術政策総合研究所

調査対象：石川県輪島市、七尾市、珠洲市、穴水町、能登町の公共施設、教育施設等の鉄骨造建築物、同市町の大きな被害が確認された一般の鉄骨造建築物等

調査事項：

調査事項1：一般の鉄骨造建築物及び建築物の非構造部材の外観調査

調査事項2：公共施設、教育施設等の鉄骨造建築物及び建築物の非構造部材の外観・内観調査

主な調査結果：

調査事項1

調査した鉄骨造建築物において、倒壊や崩壊した建築物、外壁等における広範囲の脱落や構造部材の損傷が確認された建築物等では、錆なども多く見られ、外観からもかなり古い建設年代と思われるものであった。倒壊、崩壊した3棟の建築物は、空中写真等の調査から、1975年以前に建設されていた建築物と判断され、旧耐震基準の建築物と考えられる。

調査事項2

屋内運動場・ホール等の大空間を構成する天井等の調査により、天井の耐震改修履歴が不明な屋内運動場・ホールにおいて、天井仕上材の部分的なひび割れ・脱落が見られた。特定天井(脱落によって重大な危害を生ずるおそれのある天井)告示制定以降に耐震改修の履歴があるなど、比較的新しい建築物のホール天井等についても調査したが、天井面構成部材である金物等の損傷による天井面の脱落等は確認されなかった。

校舎、事務所、屋内運動場(ギャラリー部分、舞台上部・袖部、舞台対面)等において、鋼製下地材とボードで構成される壁における、ボードや鋼製下地材の剥離・脱落等が確認された。

本資料は、建研ホームページ及び国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先URL：

[https://www.kenken.go.jp/japanese/contents/topics/2024/R6\\_6\\_14\\_1\\_noto.pdf](https://www.kenken.go.jp/japanese/contents/topics/2024/R6_6_14_1_noto.pdf)

**(問合わせ先)**

国立研究開発法人 建築研究所

**[本資料の内容について]**

所属 構造研究グループ

氏名 長谷川 隆

電話 029-864-6662

E-mail [hase@kenken.go.jp](mailto:hase@kenken.go.jp)

所属 建築生産研究グループ

氏名 沖 佑典

電話 029-864-6625

E-mail [oki\\_y@kenken.go.jp](mailto:oki_y@kenken.go.jp)

**[公表資料（著作権）の取扱いについて]**

所属 企画部情報・技術課

電話 029-879-0652

E-mail [link-cl@kenken.go.jp](mailto:link-cl@kenken.go.jp)